

ロジックモデル (脳卒中)

改善率 5%

資料 7

番号	C初期アウトカム指標				最新値 (人口10万対etc)			R11 目標値	
	出典資料名称	出典資料調査年	取得内容	埼玉県	全国	10万人対の該当	埼玉県	コメント・考え方	
1	① 県民公開講座、メディア等を使った啓蒙活動の実施回数	R4	県民公開講座等の実施回数	13			18	県独自指標	
	② 喫煙率(男性)	R元	国民生活基礎調査	27.5	28.8			県の『健康長寿計画』と一致させる	
	② 喫煙率(女性)	R元	国民生活基礎調査	9.3	8.8			県の『健康長寿計画』と一致させる	
	③ 特定健康診査の実施率	R2	特定健康診査の実施状況	52.1	53.1			県の『健康長寿計画』と一致させる	
④ 特定保健指導の実施率	R2	特定保健指導の実施状況	17.0	23.0			県の『健康長寿計画』と一致させる		
2	① 脳卒中疑い患者に対して主幹動脈閉塞を予測する6項目(*)の観察指標を利用している消防本部数			データなし				※現在確認中	
	② 脳卒中疑い患者に対して主幹動脈閉塞を予測する6項目(*)の観察指標を利用している消防本部数			データなし				※現在確認中	
3	① 脳神経内科医師数	R2	医師・歯科医師・薬剤師統計	2.7	4.6	*	—	指標としない	
	② 脳神経外科医師数	R2	医師・歯科医師・薬剤師統計	3.9	5.9	*	—	指標としない	
	③ 脳卒中の専用病室を有する病院数	R2	医療施設調査	0.1	0.2	*	—	指標としない	
	④ 脳卒中の専用病室を有する病床数	R2	医療施設調査	1.1	1.3	*	—	指標としない	
	⑤ 脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数	R3	NDB	0.6	データなし	*	0.6	横ばいとす	
	⑥ 脳卒中の相談窓口を設置している急性期脳卒中診療が常時可能な医療機関数	R4	日本脳卒中学会から提供	0.1	0.2	*	0.11	改善率の分だけ上げる	
	⑦ 脳卒中について、急性期の診療が常時可能であり、また患者相談を行っている医療機関数			10			11	県独自指標 PSGコア病院の数 ※「患者相談」は、院外患者も対象とする。	
	⑧ 脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数	R3	NDB	10.4	5.4	*	10.40	横ばいとす (最新値が高いため)	
	⑨ くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数	R3	NDB	4.9	1.7	*	4.90	横ばいとす (最新値が高いため)	
	⑩ くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数	R3	NDB	3.8	1.3	*	3.80	横ばいとす (最新値が高いため)	
4	① 両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数	R4	(独)労働者健康安全機構の養成研修HP	4.8	9.7	*	5.04	改善率の分だけ上げる	
	② 理学療法士の人数	R2	医療施設調査	61.7	80.8	*	—	指標としない	
	③ 作業療法士の人数	R2	医療施設調査	27.7	40.9	*	—	指標としない	
	④ 言語聴覚士の人数	R2	医療施設調査	10.4	14.3	*	—	指標としない	
	⑤ リハビリテーション科医師数	R2	医師・歯科医師・薬剤師統計	1.5	2.3	*	—	指標としない	
	⑥ 脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数	R3	NDB	3.5	データなし	*	3.68	改善率の分だけ上げる	
	⑦ 脳卒中患者に対する療養・就労両立支援の実施件数			データなし			—	データ取得方法がないため指標から除外する?	
5	① 脳卒中患者における介護連携指導の実施件数	R3	NDB	8.9	2.4	*	8.90	横ばいとす (最新値が高いため)	
	② 脳卒中患者の重篤化を予防するためのケアに従事している看護師数	R4	日本看護協会	0.5	0.6	*	0.53	改善率の分だけ上げる	
	③ 歯周病専門医が在籍する医療機関数	R4	日本歯周病学会より提供	0.5	0.8	*	0.53	改善率の分だけ上げる	
④ 脳卒中による入院と併せて摂食機能療法を実施された患者数	R3	NDB	109.9	148.7	*	115.4	改善率の分だけ上げる		

番号	B中間アウトカム指標				最新値 (人口10万対etc)			R11 目標値	
	出典資料名称	出典資料調査年	取得内容	埼玉県	全国	10万人対の該当	埼玉県	コメント・考え方	
1	① 脳血管疾患により救急搬送された患者数	H29	患者調査	0.20	0.20	*	0.21	改善率の分だけ上げる	
	② 救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要した平均時間	R3	救急救助の状況	47.4	42.8		39.4	県医療整備課による「救急医療」の指標	
	③ 高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率	R2	患者調査	217.8	215.3		228.69	改善率の分だけ上げる	
	④ 脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	R2	患者調査	62.0	67.7		65.1	改善率の分だけ上げる	

番号	B中間アウトカム指標				最新値 (人口10万対etc)			R11 目標値	
	出典資料名称	出典資料調査年	取得内容	埼玉県	全国	10万人対の該当	埼玉県	全国	
2	① 脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数	R3	NDB	632	714	*	663.92	改善率の分だけ上げる	
	② 脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数	R3	NDB	13	19	*	14.07	改善率の分だけ上げる	
	③ 退院患者平均在院日数	R2	患者調査	88.4	86.5		83.98	改善率の分だけ下げる	
	④ 在宅等生活の場に復帰した患者の割合	H29	患者調査	59.2	50.0		62.16	改善率の分だけ上げる	

* は人口10万人対換算

番号	A分野アウトカム指標							R11 目標値	
	出典資料名称	出典資料調査年	取得内容	取得方法	埼玉県	全国	埼玉県	コメント・考え方	
1	① 脳卒中による死亡が減少している。脳血管疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができている。								
	① 脳血管疾患の年齢調整死亡率(男)	H27	人口動態特殊報告	e-Stat人口動態特殊報告	120.9	116.0	61.3	2012~2019の推移から推測されるR11推計値。 ※年ごとの振れ幅を考慮し、約9割の確率で見込まれる値	
	① 脳血管疾患の年齢調整死亡率(女)	H27	人口動態特殊報告	e-Stat人口動態特殊報告	77.4	72.6	37.9		
	② 健康寿命と平均寿命の差(男)							県の『健康長寿計画』と一致させる	
② 健康寿命と平均寿命の差(女)								県の『健康長寿計画』と一致させる	

